

児童発達支援センター 自己評価表

		チェック項目	評価		改善目標、工夫している点など
			○(適切)	△(改善必要)	
環境体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		10名の利用定員に対して、訓練室等では「運動遊び」や「自由遊び」、遊戯室では「個別課題」等を行ないながら、効果的に療育を実践しています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準に準じた職員配置を実施しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○		必要な場所にスロープ等を設置しています。また、多目的トイレも設置しています。2階建ての事業所となっているため、エレベーターも設置しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		△	ミーティングをする時間を十分に確保することができなかったことが反省点です。短い時間でもミーティングできる環境を設定します。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		2019年度は、新型コロナウイルスの影響により、保護者アンケートを実施することができませんでした。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部からの第三者評価は受けていません。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		法人内部研修及び外部研修への参加を積極的に行なっています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		契約前の面談やモニタリングにおいて、保護者様の「想い」をしっかりと受け止めながら客観的にアセスメントを行い、課題等に盛り込んだ計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		標準化したアセスメントツールを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で話し合いをもちながら年齢層や季節に応じたプログラムを立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		△	固定化した活動を改善することはできませんでした。一つだけ遠足を動物園等ではなく、子どもたちが楽しめる大型室内遊具のある施設にしたことは良かったです。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか。			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子さんの発達状況や個別課題に合わせた活動を設定し、個々及び年齢にあった計画書を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		朝の送迎があるため、効果的に打ち合わせや引き継ぎを行なうことができるようホワイトボードを活用した打ち合わせを継続的に実施することができました。
	⑯	支援終了後には職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。		△	支援終了後に定期的な振り返りや支援内容についての話し合いをもつ機会をとれなかったことが反省点です。事務勤務日等を活用して、打ち合わせの場を設けていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録について、誰がみてもわかりやすく、且つ簡素化することで支援の検証や改善につながるようにしています。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		年2回の定期的なモニタリングの実施と必要に応じた個別面談を開催しながら、計画書の見直しを実施しています。
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		指針として示されたガイドラインに沿った支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		サービス担当者会議には児発管が必ず参加し、チームとして利用者様とご家族をサポートできる体制を整えています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		△	現在、医療的ケア児を受け入れることのできる職員体制、設備等がないため難しいと考えています。
	㉓	利用前に在籍していた保育所や幼稚園、託児所、認定こども園等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		幼稚園と併用をしていた利用者様の発達状況について、担任の先生、児発管、保育士間で情報の共有化を図っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			
	㉕	放課後等デイサービス事業所や幼稚園、保育所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		新規で利用される方が児童発達支援センター等をご利用している場合は、事業所を訪問させていただき、引き継ぎ等を実施しています。
	㉖	幼稚園や保育所等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		△	同じ事業所内で運営している放課後等デイの方たちと長期休校日期間中は一緒に遊んだりする機会をもつことができました。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		人員体制が厳しいため、昨年ほど協議会等へ積極的に参加することができなかった。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか。	○		朝や帰りの送迎時、連絡帳、保護者懇談会、個別面談等を実施しながら、子どもの発達状況や課題等について共通理解もつことのできる環境を提供しています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		△	事業所独自のペアレント・トレーニングは実施していませんが、大崎圏域で実施されているペアレント・トレーニングへの参加のご案内を情報として提供しています。	

保護者への説明責任	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧に説明を行なっています。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様のニーズに添った助言等を必要に応じて相談支援事業所及び保健師その他関係機関と連携を図りながら行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		△	「保護者懇談会」を開催するために保護者宛に案内文をだしましたが、集まりが悪く、開催することができませんでした。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		法人で規定している「苦情対応マニュアル」に準じた苦情対応を実施しています。また年度末に「苦情等受付簿」を法人が設置している第三者委員に提示し、講評をしていただいています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所全体としての広報誌を発刊し、各事業ごとに活動の様子や行事等について情報を発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか。	○		個人情報保護法及び守秘義務に準じています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご本人及びご家族様の意向を確認させていただきながら、必要に応じた配慮をしています。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業所運営を図っているか。		△	今年度も地域とのつながりを持つ機会は少なかったです。地域の行事等を把握しながら活動に取り入れることができるよう改善します。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○		重要事項説明を行う際に、各種マニュアルについてご説明をさせていただいております。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		各事業所毎に地震・火災等を想定した定期的な避難、通報訓練を実施しています。年1回は事業所全体での訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全体会議及び児童部門会議等で「虐待」の事例についての学習を行うよう心がけています。
	④②	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		△	現在のところ設問のような事案はありませんが、「やむを得ず～」という事案が発生した場合においては法令遵守という観点からサービス担当者会議等を開催し、組織的にサービス計画を立案していきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様から医師による指示書等のコピーを同意を得ていただくようにしています。また万が一の対処についてもご指導をいただいています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		日々のミーティングで、ヒヤリハットの場面等について振り返りを行ない、怪我及び事故等の防止に努めています。

自己評価策定会議

開催日時： 令和2年3月26日(木) 16:30～17:30

開催場所： 障がい児者サポートセンターととて2階食堂

参加者： 管理者1名 児童発達支援管理責任者1名 保育士1名 児童指導員1名

自己評価表作成者： 施設長 小山洋之